

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 ほっと・すぺーす 21

1. 事業の成果

長引く新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も子どもほっとラインもしもしにゃんこ。🐾活動を主に実施した。

県内の18才までの子どもの子どもの心の居場所作りを目的とした「子どもほっとラインもしもしにゃんこ 🐾」は毎月第1日曜日に開設、また11月には児童虐待防止にあわせ毎週開設し、総アクセス数は406本、着信数は256本だった。開設当初から大切にしてきた一期一会の出会いの機会、一本一本の電話の向こうにいる子どもの心と真摯に向き合い寄り添うことを今年度も心掛け対応した。スタッフ継続研修は3回実施できた。そのうち2回は新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、県内在住の講師により実施、メインに考えていた1回は長野県から講師を招いて人と人とのつながりについて学び直した。次年度はコロナ収束と共に、スタッフ増員のため養成講座を開設し、毎週常設を目指したい。

出前講座はほっと・すぺーす21の目的である「コミュニケーションにおける安心感と信頼感」や「他者への温かなまなざし」などを参加者と共に考える時間だが、今年度もコロナ禍のためわずか1回の実施となった。

コロナ禍を過ごしてきた子どもの電話からは、新しい生活スタイルに少しずつ順応し、制約がある中にもたくましく過ごしている様子も聴き取れるが、コロナ禍後の新たな問題、子どもをとりまく現状の様々な問題に目をそらさず、ほっと・すぺーす21として子どもの健やかな育ちにできることを精一杯支援していきたい。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子育て・子育て支援事業	○子どもほっとライン ・常設 (毎月第1日曜日) ・児童虐待防止月間特別開設 (11月毎週日曜開設) ・広報 カード配布 ホームページ掲載 ・継続研修	4月～	松江市	30人	県内の18歳以下の子ども不特定多数	451
		11月	松江市	12人		
		5月	県内全域	5人		
		10月		5人		
		年間	松江市	15人		
		6月1回		15人		
		10月1回 2月1回		25人		
	○出前講座	年間	松江市	1人	関係団体	0
	○ネットワーク	年間	松江市	2人	関係団体	3